令和９（2027）年度

博士課程後期３年の課程春季学生募集要項

（令和９（2027）年４月進学・編入学）

〔一　　般　　選　　抜（進　学）〕
〔一　　般　　選　　抜（編入学）〕
〔社 会 人 特 別 選 抜（編入学）〕
〔外国人留学生等特別選抜（編入学）〕

令和８（2026）年 10 月

東北大学大学院工学研究科

【工学研究科の入学者選抜方針（博士課程後期３年の課程)】

◇アドミッション・ポリシー

東北大学大学院工学研究科は，自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし，安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し，将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成，並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え，社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を目指します。

具体的には，創造性と高い研究能力を有する研究者や社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者を志す，次の学力および能力をもつ人を求めます。

1. 工学に関する幅広い基礎知識，自分の研究分野に関する高度な専門知識とそれらを柔軟に展開する能力
2. 自分の研究の意義と成果を論理的に発表し，討論できる能力

このため，学生の受け入れにあたっては，一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生等特別選抜，および英語による教育を提供する国際学位コースに関する選抜の枠を設けて入学試験を実施し，上記の教育理念･目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

一般選抜および外国人留学生等特別選抜では，各選抜の実施単位である系・専攻ごとに工学に関する基礎知識と専門的知識を評価する筆記試験等，語学力，入学者としての適性を見るための面接試験等を適宜組み合わせて行い，特に筆記試験等を重視して選抜を行います。

社会人特別選抜では，系・専攻ごとに研究計画の評価および研究意欲等の適正を見るための面接試験等を行い，それらを総合的に評価して選抜を行います。必要に応じて工学に関する基礎・専門的知識や小論文の評価を合わせて選抜を行います。

なお，入学前に，主体的に研究を行うために必要な研究経験や基礎学力を身につけておくことを希望します。

◇教育目的および教育目標

工学研究科は，東北大学の伝統である「研究第一主義」，「門戸開放」，「実学尊重」の理念の下，自然と人間に対する深い知識と広い視野を基本とし，安全安心で豊かな社会の実現のために倫理観と気概をもって自ら考えて研究を遂行し，将来の科学技術の発展と革新を担うことができる豊かな創造性と高い研究能力を有する研究者の養成，並びに高度な専門的知識のみならず長期的な展望や国際的な視野を備え，社会の持続的発展に貢献できる中核的専門技術者の育成を教育目的とする。

後期課程にあっては，社会的・国際的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し，独自の発想によってその課題を展開させ，国際水準の論文をまとめて国際学会等で発表かつ討論できる能力を有するとともに，関連の専門分野においても主体的に研究を遂行できるだけでなく，将来とも自己啓発し，リーダーとして世界的に活躍できる人材を育てることを教育目標とする。

◇ディプロマ・ポリシー

東北大学工学研究科では，所定の期間在学し，工学研究科の教育目的及び教育目標に沿って設定された授業科目を履修して，所定の単位以上を修得し，高い倫理観と責任感，そして以下の知識と能力を身につけた上で，博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して，博士（工学）の学位を授与する。

1. 社会的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し，研究を実践する能力
2. 独自の発想による課題解決能力

3. 他分野に応用できる思考能力
4. 国際学会等で発表するに十分な語学力・論文執筆能力・ディベート力・コミュニケーション能力
5. 研究指導を行う能力
6. 研究またはプロジェクトをマネジメントする基本的能力

◇カリキュラム・ポリシー

東北大学工学研究科では，ディプロマ・ポリシーで示した知識と能力を学生が身につけることができるよう，以下の方針に沿って教育を行う。

1. 社会的・国際的要請を踏まえた俯瞰的視野に立って研究課題を開拓し，研究を実践する能力，その研究課題を独自の発想によって展開し，国際水準の論文として纏めることができる能力，さらにこれらを通じて他分野にも応用展開できる思考能力を育成する。
2. 研究成果を国際学会等で発表かつ討論するに十分な語学力・ディベート力・コミュニケーション能力を育成する。
3. 専門分野において研究指導を行うことができる能力を育成する。

上記の方針を実践するため，工学研究科全体で共通科目を開講するとともに，専攻ごとに学際基盤科目，専門科目，関連科目を設定し，カリキュラムマップにより博士前期課程を含めた教育課程の全体像を把握できるようにしている。学際基盤科目は主に講義形式で提供し，専門科目は特別講義，特別研修，セミナー，博士研修等で構成されている。講義形式の科目は，各専攻における幅広い基礎知識および高度な専門知識を修得させる目的で提供し，科目ごとに教授内容，達成方法，時間外学修の指針等を明示したシラバスを作成している。博士研修は個別の課題に関する研究と博士学位論文の執筆を通して高度な研究を実践する能力や展開力，俯瞰力，語学力・ディベート力等を養う。

講義科目では，定期試験やレポート等の手段により基礎知識，基礎学力，専門知識等を講義担当教員が評価する。成績評価方法の詳細については科目ごとにシラバスに記載している。博士研修では研究室における研究活動，国内外の学会における発表，博士学位論文および審査会における議論の内容を基に，下記の項目を指導教員が評価する。

1）研究またはプロジェクトの企画・立案・遂行能力
2）学術論文や技術資料の調査・分析能力
3）国際水準の学術論文を執筆するための基礎学力
4）関連分野の研究を評価する能力
5）国際学会等での論文発表・討論・コミュニケーション能力
6）学部ならびに大学院前期課程の学生に対する研究の補助および研究を指導する能力

１　募集する専攻及び募集人員

専　攻　名	募集人員	専　攻　名	募集人員
機械機能創成専攻	１０名	応用化学専攻	８名
ファインメカニクス専攻	１１名	化学工学専攻	７名
ロボティクス専攻	１１名	バイオ工学専攻	５名
航空宇宙工学専攻	１２名	金属フロンティア工学専攻	７名
量子エネルギー工学専攻	１１名	知能デバイス材料学専攻	１０名
電気エネルギーシステム専攻	８名	材料システム工学専攻	８名
通信工学専攻	９名	土木工学専攻	１３名
電子工学専攻	１５名	都市・建築学専攻	８名
応用物理学専攻	１１名	技術社会システム専攻	１３名
		計	１７７名

備考：この募集人員には，令和８（２０２６）年８月に実施した一般選抜（進学），一般選抜（編入学），社会人特別選抜（編入学）及び外国人留学生等特別選抜（編入学）による募集人員を含みます。

２　出　願　資　格

◎　**一般選抜（進学）**に出願できる者は，本学大学院博士課程前期２年の課程，修士課程又は専門職学位課程に在学している者で，令和９（２０２７）年３月に修士の学位又は修士（専門職）の学位を取得見込みの者とします。

◎　**一般選抜（編入学）**に出願できる者は，上記進学以外の者で，下記の（１）～（８）のいずれかに該当する者とします。

◎　**社会人特別選抜（編入学）**に出願できる者は，原則として大学等卒業後，技術者・教員・研究者等として，入学時において２年以上勤務経験があり，下記の（１）～（８）のいずれかに該当する者とします。

◎　**外国人留学生等特別選抜（編入学）**に出願できる者は，外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者で，下記の（１）～（８）のいずれかに該当する者とします。

（１）　修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和９（２０２７）年３月までに取得見込みの者

（２）　外国の大学の大学院において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９（２０２７）年３月までに取得見込みの者

（３）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は

専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９（２０２７）年３月までに取得見込みの者

（４） 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９（２０２７）年３月までに授与される見込みの者

（５） 国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９（２０２７）年３月までに授与される見込みの者

（６） 外国の学校，外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準（昭和４９年文部省令第２８号）第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（７） 文部科学大臣の指定した者

① 大学を卒業した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

② 外国において，学校教育における１６年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者で，本大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（８） 本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有するものと同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの

［注１］ 出願予定の者のうち，本学に教員又は職員として雇用されていて，かつ，入学後も引き続き本学に勤務する者については，令和８（２０２６）年１２月４日（金）までに工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

［注２］ 志願者は，入学後の研究計画等について，事前に受入れ予定教員，または当該専攻（専攻長）へ問い合わせてください。

［注３］ 出願資格（７）による志願者は，出願資格について事前に当該専攻（専攻長）へ問い合わせください。なお，その際必要な書類は次のとおりです。

必要書類等	摘　　要
研究又は業務に従事した証明書	所属長が発行し，技術者・教員・研究者等として２年以上研究に従事したことを証明するもの。（社印等のあるもの・様式随意）
研究又は業務の要旨	技術者・教員・研究者等として勤務した期間のもの。 （２，０００字程度，Ａ４判２ページ）

成　績　証　明　書	出身大学の学部長が発行したもの。
そ の 他 参 考 資 料	学術論文，特許公報の写しなど。

［注４］　出願資格（８）によって出願しようとする者は，出願資格審査を行いますので，事前に志望する系・専攻の事務室（別表備考欄参照）へ問い合わせてください。

3　オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは，次のとおりです。

1　募集要項の確認・必要書類の取得

・本募集要項で，出願資格（１～３ページ）や出願に必要な書類（５～９ページ）等をよく確認してください。

・出願書類の「卒業（見込）証明書」，「成績証明書」等の証明書類は，事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2　検定料の支払い（編入学志願者のみ）

・本募集要項７～８ページの指示に従い，ATM（金融機関，コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ，指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（志願者負担）。

・振込後，ATM の利用明細（写），インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等，振込先口座情報，金額，振込日，振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付け，そのスキャンデータを下記の出願登録サイトでアップロードしてください。

3　出願登録サイト（The Admissions Office）で出願登録

・The Admissions Office（以降，TAO と表記します。）のウェブサイトにアクセスし，アカウント作成後，志願者の情報等の必要事項を入力してください。

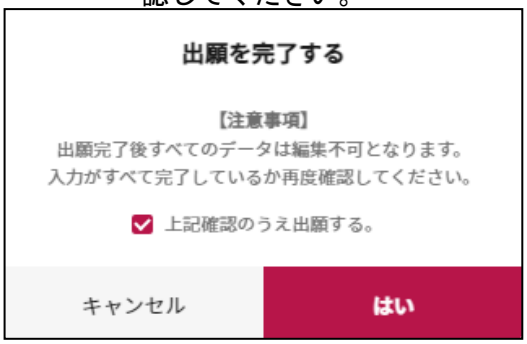
https://admissions-office.net

・証明書等のアップロードも出願登録時に行います。

・**登録後は，登録した内容は変更できません**。登録するときは，誤りのないように，確認しながら慎重に行ってください。

・一時保存の機能もありますので，確認などに有効に利用してください。

・出願手続は，検定料の納入（編入学志願者のみ）を経て，インターネット上で出願情報を登録することで完了します（同時にシステムから出願完了のメールが届きます）。なお，出願完了後は，TAO の「出願一覧」画面で該当の選抜が「完了済」タブに表示されているか確認してください。





出願期間：令和9（2027）年1月6日（水）9:00～1月14日（木）16:00（日本時間）

下記の手順に従い，期間内に出願手続を行ってください。

【出願手順及び留意事項】

1．下記 URL にアクセスし，必要事項を入力してアカウントを作成してください。

https://admissions-office.net/portal/

2．アカウント作成後，上記 URL からログインし，「募集検索」メニューで「東北大学/工学研究科/博士後期３年の課程/４月進学・編入学（春季）」を検索し，TAO 及び本募集要項の指示に従って出願してください。

3．ファイルの提出が必要な場合は，PDF ファイルに変換し，出願フォームにアップロードしてください。

また，提出が認められる証明書は原則として日本語又は英語のものとします。

上記の取り扱いが困難な場合は，出願前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

※一度提出した出願書類の差替え等は一切認めません。

※受付後の出願取下げは認めません。

※出願書類に虚偽の申告をした者については，入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

※試験に合格して入学する者は，入学手続時に「成績証明書」「修了証明書又は学位授与証明書」（ただし，本研究科博士課程前期２年の課程修了者は提出不要）及び出願時に PDF ファイルで提出した英語スコアシートの原本を提出することが求められます。（TOEIC デジタル公式認定証を提出している場合を除く。） TAO にアップロードした書類と，入学手続時に提出した原本の内容に相違がある場合，あるいは各種証明書の原本を提出できない場合は，書類不備として入学許可を行わないことがあります。

［Ｉ］ 本学大学院博士課程前期２年の課程，修士課程又は専門職学位課程に在籍している学生が，一般選抜（進学）を志願する場合

提出書類等	摘　　要
進　学　願　書	TAO の入学願書フォームに必要事項を入力してください。
履　歴　書	下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html
受　験　票	下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。なお，写真票への記入及び写真貼付は不要です。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html
あ　て　名　票	TAO のあて名票フォームに必要事項を入力してください。
受　験　承　諾　書	**【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】** 在職期間，職務内容，身分を記載し，所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式随意）。

［注１］ 現在の所属専攻以外の専攻に出願する場合の必要書類は，前記と異なる場合がありますの

で，事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

［Ⅱ］　［Ⅰ］以外の者で，出願資格の（1）～（5），（7）による志願者

提出書類等	摘　　要
編　入　学　願　書	TAO の入学願書フォームに必要事項を入力してください。
履　　歴　　書	下記 URL から所定の履歴書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html
推　　薦　　書 又　は　承　諾　書 （受入れ予定教員）	本研究科所定の様式を用い，受入れ予定教員が作成したもの。 下記 URL から所定の推薦書（承諾書）ファイルをダウンロードし，事前に受入れの承諾を得ている本研究科の受入れ予定教員に作成してもらったものを提出してください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html （推薦書を提出できない者は，受入れ予定教員の承諾書） （金属フロンティア工学専攻，知能デバイス材料学専攻，材料システム工学専攻を志願する者は，必ず推薦書を提出してください。）
大学院の成績証明書	出身大学院の研究科長等が発行するもの。 出願資格（7）による志願者は提出不要です。
英語スコアシート 有効となる試験: ・TOEFL iBT® ・TOEIC®Listening & Reading 公開テスト ・IELTS-Academic module （量子エネルギー工学専攻と応用物理学専攻志願者のみ提出可）	下記①または②に該当する志願者は提出してください。ただし，応用化学専攻，化学工学専攻，バイオ工学専攻，都市・建築学専攻を志願する者は提出不要です。 ① 一般選抜（編入学）または外国人留学生等特別選抜（編入学）で機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻，量子エネルギー工学専攻，電気エネルギーシステム専攻，通信工学専攻，電子工学専攻，応用物理学専攻，金属フロンティア工学専攻，知能デバイス材料学専攻，材料システム工学専攻，土木工学専攻，技術社会システム専攻を志願する者 ② 社会人特別選抜（編入学）で金属フロンティア工学専攻，知能デバイス材料学専攻，材料システム工学専攻を志願する者 ・入学試験実施日から２年以内に受験したもののみ提出が認められます。 ・TOEFL iBT®において Test Date スコアのみを利用します。（MyBest™スコアは利用しません。） ・TOEFL iBT® Home Edition の提出については，専攻により対応が異なります。本募集要項の別表にてご確認ください。 ・日本国内で実施された TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコア提出については，デジタル公式認定証のみ受け付けます。 ・一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 ・外国人留学生等特別選抜において，機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻では基準点を設けています。詳細は別表を確認してください。 ・受入予定教員の理由書（様式任意）をもって，スコアシートの提出免除が認められる場合があります。これを希望する場合は，出願開始日の前まで（ただし，機械系４専攻及び電気系３専攻は１２月１８日（金）まで）に，志望する系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。

	※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル・テスティング・サービス（ETS）の登録商標です。
修了（見込）証明書 又は 学位授与（申請受理） 証明書	出身大学院の研究科長等又は大学改革支援・学位授与機構が発行するもの。 出願資格（７）による志願者は卒業証明書又は学位授与証明書（出身大学の学部長等又は大学改革支援･学位授与機構が発行するもの）を提出してください。
学部の成績証明書	出身大学の学部長等の発行するもの。
修士論文の写し 修士論文の内容の要旨	下記①～③のとおり提出してください。 ①応用化学専攻，化学工学専攻，バイオ工学専攻の志願者 ●修士論文の写し ●修士論文の内容の要旨（A4 版 2～4 ページ程度，日本語か英語で作成したもの） ※ただし，修士論文の写しを提出できない場合は研究内容の要旨（A4 判 2～4 ページ程度，日本語か英語で作成したもの）のみを提出 ②応用物理学専攻，金属フロンティア工学専攻，知能デバイス材料学専攻，材料システム工学専攻，土木工学専攻，都市・建築学専攻の志願者 ●修士論文の写し（ただし，修士論文の写しを提出できない場合は研究の要旨（2,000 字程度，A4 判 2 ページ，日本語か英語で作成したもの）を提出） ③機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻，量子エネルギー工学専攻，電気エネルギーシステム専攻，通信工学専攻，電子工学専攻，技術社会システム専攻の志願者 ●修士論文の内容の要旨（A4 版 2～4 ページ程度，日本語か英語で作成したもの） 出願資格（７）による志願者は提出不要です。
受験票・写真票	下記 URL から所定の受験票・写真票ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html 写真票には上半身無帽像で３か月以内に撮影した写真の画像ファイルを含めてください。
住民票	本邦に在留する外国人の方(在留期間が９０日を超える者)のみ提出してください。 (出願日前３か月以内に発行されたもので個人番号（マイナンバー）の記載がなく，在留資格が明記されたもの)
検定料 ３０，０００円を右記により支払いのうえ， **「検定料納付確認書」を提出**すること。	①下記URL から所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html ②検定料は，ＡＴＭ(金融機関，コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ，下記により納入し，ATM の利用明細（写），インターネットバンキングの振込完了画面のコピーを検定料納付確認書に貼り付けてください。 ※振込依頼人名は，必ず志願者本人のカナ氏名を登録すること。 ※振込先口座情報，金額，振込日，振込依頼人名等がわかるもの ※振込手数料については，志願者本人負担となります。

	金　　額：３０，０００円 納入期間：１月１日（金）～１４日(木)【期限厳守】 銀　　行：三菱 UFJ 銀行　銀行コード：０００５ 支　　店：わかたけ支店　　支店コード：８０９ 預金種別：普通 口座番号：２２５９２２５ 口座名義：国立大学法人東北大学 カ　　ナ：ﾀﾞｲﾄｳﾎｸﾀﾞｲｶﾞｸ ③国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については，次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/disaster.html ③　上記の口座は海外送金に対応しておりません。海外から検定料を支払う場合はクレジットカード等で対応できますので，出願期間の前日までに大学院教務係(１２頁参照)までご連絡ください。
あ　て　名　票	TAOのあて名票フォームに必要事項を入力してください。
受　験　承　諾　書	**【※在職のまま入学する者のみ提出願います。】** 在職期間，職務内容，身分を記載し，所属長の発行したもの。 （社印等のあるもの・様式随意）
◎下記の書類は一般選抜(編入学)志願者のみ提出願います。	
日本語能力試験等の証明書または日本語教員・指導（予定）教員等が作成した志願者の日本語能力を示す書類（様式随意）	外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者で，機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻を志願する者は提出してください。 上記以外の専攻を志願する者は提出不要です。
◎下記の書類は社会人特別選抜志願者のみ提出願います。	
在　職　証　明　書	１頁記載の社会人特別選抜出願資格を証明する書類 （在職期間，職務内容，身分を記載し，所属長の発行したもの・様式随意） ※在職のまま入学する者で，別途提出する受験承諾書において，社会人特別選抜出願資格を確認できる場合は，在職証明書の提出は不要です。
◎下記２点の書類は外国人留学生等特別選抜(編入学)志願者のみ提出願います。	
推　薦　書 （出身大学院）	出身大学院若しくは大学の指導教員又はそれに準ずる者が作成したもの。(様式随意)
日本語能力試験等の証明書または日本語教員・指導（予定）教員等が作成した志願者の日本語能力を示す書類（様式随意）	金属フロンティア工学専攻，知能デバイス材料学専攻，材料システム工学専攻においては日本語能力も含めて合否判定を行いますので，当該専攻の志願者は提出してください。 上記以外の専攻を志願する者は提出不要です。 ※機械機能創成専攻，ファインメカニクス専攻，ロボティクス専攻，航空宇宙工学専攻を志願し，日本語による教育を希望する者は「一般選抜（編入学)」を受験すること。

◎下記２点の書類は出願資格（７）による志願者のみ提出願います。	
研　究　計　画　書	１，０００字程度，Ａ４判１ページ
研究又は業務に従事した証明書	所属長が発行し，技術者・教員・研究者等として２年以上研究に従事したことを証明するもの。（社印等のあるもの・様式随意）

前記のほか，学力を表す論文・報告書等の提出を希望する場合は，その他書類として出願フォームにアップロードしてください。

［Ⅲ］ 出願資格の（６），（８）による志願者は，出願書類等について事前に工学部・工学研究科教務課大学院教務係へ問い合わせてください。

４　選 抜 方 法 等

入学者の選抜は，別表に記載されている試験科目の結果及び提出書類等を総合して判断します。

試験日時：令和９（２０２７）年３月２日（火）から３月４日（木）までの間に別表によって行います。

試験場所：東北大学大学院工学研究科（試験の詳細については，各専攻から本人あてに通知します。）

［注意］同じ試験日程で行われる複数の選抜（例：一般選抜と外国人留学生等特別選抜　等）を受験することはできません。

５　合 格 者 発 表

令和９（２０２７）年３月１０日（水）１７時頃に東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（https://www.eng.tohoku.ac.jp）に発表する予定です。

なお，合格者に対しては，合格通知書をTAO上で通知します。電話による問い合わせには回答できません。

※システム障害等のやむを得ない事情により，上記の方法での発表や通知が困難となった場合は，方法を変更することがあります。

６　入 学 手 続 等

（１）　入学手続は，令和９（２０２７）年３月中旬にGoogleフォームで書類を提出する方法で実施の予定です。詳細については，令和９（２０２７）年３月中旬にメールでお知らせします。

（２）　入学時の必要経費

編入学の場合

① 入　学　料　　２８２，０００円（予定額）

② 授業料前期分　　２６７，９００円（年額５３５，８００円）（予定額）

進学の場合

① 入　学　料　　本学大学院博士課程前期２年の課程，修士課程又は専門職学位課程を修了見込みの者は不要です。

② 授業料前期分　　２６７，９００円（年額５３５，８００円）（予定額）

注１　上記の納付額は予定額であり，納付金の改定が行われた場合には，改定時から新しい納付金額が適用されます。

注２　入学料及び授業料の納付に関しては，令和９（２０２７）年３月中旬にメールでお知らせします。また，免除，徴収猶予等の手続きに関しては，東北大学のウェブサイト（https://www.tohoku.ac.jp）にアクセスし，「受験生」→「入学料及び授業料等免除」の順にクリックしてご覧ください。

7　長期履修学生制度の適用

本研究科では，特別の事情［注１］によって，標準修業年限である３年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し，修了する［注２］ことを願い出た者については，審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい，当該学生の授業料支払総額は，標準修業年限による修了者と同額です。この制度に関する照会は随時受け付けますので，工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

入学時に長期履修学生制度の適用を希望する者は，入学手続期間中に申し出の上，所定の申請手続を行う必要があります。

［注１］　該当者：① 企業等に勤務している者及び自ら事業を行っている者

② 出産・育児，介護等を行う必要がある者

③ その他，本研究科が適当と認める者（経済的な理由を除く。）

［注２］　長期履修期間は６年を超えることはできませんが，許可された長期履修期間の短縮を願い出ることはできます。

なお，長期履修学生のためのカリキュラムは，原則として特別に用意しません。

8　個人情報の取扱いについて

（１）　本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い，個人情報保護に万全を期しています。

（２）　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜，入学手続，入学前教育，

追跡調査等，入学後の学生支援関係（奨学，授業料免除及び健康管理等），修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係，並びに調査・研究（入試の改善や志望動機の調査・分析等。入学者については，入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。

（３）　入試・教務関係の業務については，本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取り扱いがなされるよう，必要な措置を講じます。

９　教育・学習データ利活用について

本学では，「教育・学習データ利活用宣言」，「東北大学教育・学習データ取扱８原則」，「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め，個人情報保護に留意しつつ，教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下，「教育・学習データ」という。）を有効かつ適正に利活用しています。入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学後，教育・学習データに統合して取り扱います。

URL：https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/

１０　注　意　事　項

（１）「研究室案内（各専攻の専門分野等を掲載）」は，東北大学工学研究科・工学部ウェブサイト（https://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/grad/doctoral.html）に掲載していますので，出願の際には必ず確認してください。

（２）　出願書類及び検定料は返付しません。

（３）　受験票が試験日１０日前になっても到着しない場合は，志望した系・専攻の事務室（別表備考欄参照）に問い合わせてください。

（４）　募集事務に関することは，工学部・工学研究科教務課大学院教務係に問い合わせてください。

（５）　受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので，相談を希望する者は，次の事項を記載した申出書（様式任意）を提出してください。申出書の提出を理由として，合否判定の際に不利に扱われることはありません。

＊相談の期限：原則として令和８（２０２６）年１１月２７日（金）まで

＊申出書に記載する内容

①　志願者の氏名・住所・電話番号

②　出身大学等

③　受験上の配慮を希望する事項

④　修学上の配慮を希望する事項

⑤　これまで認められたことのある配慮の内容

⑥　日常生活の状況

⑦　その他参考となる資料（現に治療中の者は，医師の診断書を添付）

（６）　本学では，外国為替及び外国貿易法に基づき，国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め，外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

（７）　試験当日に，学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻しん，新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は，他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので，受験を認めません。ただし，病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた者は，この限りでありません。なお，本学では上記理由による追試験は行いません。受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防・健康管理に十分ご留意願います。

令和８（２０２６）年１０月

東北大学大学院工学研究科

（工学部・工学研究科教務課大学院教務係）

〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉６－６－０４

電話（022）795-5820

e-mail：eng-in@grp.tohoku.ac.jp

別表　（後期3年の課程：令和9（2027）年4月：一般選抜（進学），一般選抜（編入学），社会人特別選抜（編入学），外国人留学生等特別選抜（編入学））

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
機械機能創成専攻 （航空宇宙工学専攻，ロボティクス専攻，ファインメカニクス専攻）	進学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email: kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
	編入学	英　　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® HomeEdition のスコアシートの提出も認める。 英語を母語とし，英語スコアシートの提出免除を希望する志願者は令和8（2026）年12月18日（金）までに機械・知能系教務担当へ必要提出書類について，個別に問い合わせること。	出願にあたり確認事項があるので必ず事前に受入れ予定教員へ相談すること。 口述試験・面接は対面で実施予定。詳細は受験票同封資料で連絡する。 専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email: kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
		口述試験	3月3日（水） 又は 3月4日（木） （集合時間は専攻より指示する）	<研究発表および質疑応答（各20分程度> 修士論文（現在作成中のものを含む）あるいはそれに相当するもの，及び博士後期課程入学後の研究計画の内容を発表。発表の内容について試問する。	
		面　　接	3月3日（水） 又は 3月4日（木） （集合時間は専攻より指示する）	口述試験と同時に行う。 志望動機などについて面接する。	
	外国人留学生等	英　　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® HomeEdition のスコアシートの提出も認める。 英語を母語とし，英語スコアシートの提出免除を希望する志願者は令和8（2026）年12月18日（金）までに機械・知能系教務担当へ必要提出書類について，個別に問い合わせること。	※スコアシートに記載されたTest Dateのスコアが、以下の基準に満たない場合は「不合格」とする。 ・TOEIC：730点 ・TOEFL-iBT：2026年1月20日以前の受験者は79点、2026年1月21日以降の受験者は4点
		口述試験	3月3日（水） 又は 3月4日（木） （集合時間は専攻より指示する）	<研究発表および質疑応答（各20分程度> 修士論文（現在作成中のものを含む）あるいはそれに相当するもの，及び博士後期課程入学後の研究計画の内容を発表。発表の内容について試問する。	出願にあたり確認事項があるので必ず事前に受入れ予定教員へ相談すること。 口述試験・面接は対面で実施予定。詳細は受験票同封資料で連絡する。 専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
		面　　接	3月3日（水） 又は 3月4日（木） （集合時間は専攻より指示する）	口述試験と同時に行う。 志望動機などについて面接する。	
	社会人	口述試験	3月3日（水） 又は 3月4日（木） （集合時間は専攻より指示する）	<研究発表および質疑応答（各20分程度> 修士論文（現在作成中のものを含む）あるいはそれに相当するもの，及び博士後期課程入学後の研究計画の内容を発表。発表の内容について試問する。	出願にあたり確認事項があるので必ず事前に受入れ予定教員へ相談すること。 口述試験・面接は対面で実施予定。詳細は受験票同封資料で連絡する。 専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email: kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
		面　　接	3月3日（水） 又は 3月4日（木） （集合時間は専攻より指示する）	口述試験と同時に行う。 志望動機などについて面接する。	

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備考
量子エネルギー工学専攻	進学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email:kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
	編入学、外国人留学生等	英　　語		TOEFL iBT®，TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは IELTS-Academic module のスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。 英語を母語とする志願者は，出願前に問い合わせること。	(1) 成績証明書の内容等によって，筆答試験と口頭試問を免除することがある。詳細は出願前に受け入れ予定教員に問い合わせること。 (2) 各科目の出題範囲については以下のウェブサイトで確認すること。 https://www.qse.tohoku.ac.jp/admission/admission_graduate.html (3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。 (4) 筆答試験の点数によっては面接試験に進むことはできない。有無も含めた面接の詳細は試験初日に説明する。 (5) 筆答試験及び面接の言語（日本語または英語）を出願時に申告すること。試験時に申告と異なる選択はできない。 専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email:kc-exam@grp.tohoku.ac.jp
		数 学 A	3 月 2 日（火） 10 時 00 分~11 時 30 分 (集合時間 9 時 30 分)	微積分，線形代数，ベクトル解析	
		数 学 B	3 月 2 日（火） 13 時 00 分~14 時 30 分	常微分方程式，偏微分方程式，フーリエ級数・変換，ラプラス変換	
		面　　接	3 月 4 日（木） (集合時間は専攻より指示する)	＜研究発表及び質疑応答(20 分発表，15 分質疑応答等）＞ 修士論文の内容等自身のこれまでの研究等を発表し，その後発表内容に関する質疑応答を行う。 ＜口頭試問(15 分程度)＞ 専門科目に関する問題を出題する。 ※専門科目は，機械工学，材料工学，化学工学，原子力工学，放射線工学等の中から受験者の専門に応じて２科目を出題する。	
	社会人	面　　接	3 月 3 日（水）又は 3 月 4 日（木） (集合時間は専攻より指示する)	＜研究発表及び質疑応答(20 分発表，15 分質疑応答等) ＞ 修士論文の内容等自身のこれまでの研究等を発表し，その後発表内容に関する質疑応答を行う。 ＜口頭試問(15 分程度)＞ 数学・専門科目に関する問題を出題する。 ※数学の出題範囲は，筆答試験の数学 A・数学 B の範囲と同じ。専門科目は，機械工学，材料工学，化学工学，原子力工学，放射線工学等の中から受験者の専門に応じて２科目を出題する。	(1) 研究業績や研究歴等により，口頭試問を免除することがある。詳細は出願前に受入れ予定教員に問い合わせること。 (2) 面接の言語（日本語または英語）を出願時に申告すること。試験時に申告と異なる選択はできない。 専攻照会先： 機械･知能系事務室教務担当 Email:kc-exam@grp.tohoku.ac.jp

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
電気エネルギーシステム専攻 電子通信工学専攻 電子工学専攻	進学	専攻で別途選考する。			
	編入学、外国人留学生等	英　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシート提出は認めない。 英語を母語とし，英語スコアシートの提出免除を希望する志願者は令和8(2026)年12月18日(金)までに電子情報システム・応物系事務室教務担当へ必要書類について，個別に問い合わせること。	(1) 成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。 (2) 各科目の出題範囲については，専攻に照会するか，あるいは以下のウェブサイトで確認すること。 https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ (3) 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186
		基礎専門科目	3月2日（火） 9時40分～12時10分 (集合時間 9時00分)	電磁気学，電気回路，計算機ハードウェア，計算機ソフトウェア，物理，数学基礎の6題から3題選択。	
		面　接	3月2日（火）～ 3月3日（水） （専攻より指示する）	出身大学で受けた教育の内容又は修士論文（作成中含む），及び入学後の研究希望等について，20分程度で発表。 資料を5部持参のこと。	
	社会人	面　接	3月2日（火）～ 3月3日（水） （専攻より指示する）	これまでの研究の内容及び入学後の研究希望等について20分程度で発表。 資料を5部持参のこと。	専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
応用物理学専攻	進学	面　　接	3月3日（水） (集合時間は専攻より指示する)		入試以前（2月下旬）に専門面接試問を行う場合がある（詳細は別途連絡）。
	編入学	英　　語		TOEFL iBT®，TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは IELTS-Academic module のスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。	有資格者と認められた志願者には筆答試験を免ずる。 入試以前（2月下旬）に専門面接試問を行う場合がある（詳細は別途連絡）。 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186
		基礎科目	3月2日（火） 9時30分～11時45分	力学，電磁気学，量子力学の3問。	
		専門科目	3月2日（火） 13時00分～14時30分	統計力学，物性物理の2問。	
		面　　接	3月3日（水） (集合時間は専攻より指示する)	修士論文の概要発表10分，及び口頭試問。	
	社会人	面　　接	3月3日（水） (集合時間は専攻より指示する)	研究発表10分，及び口頭試問。 英語の能力を問う場合もある。	入試以前（2月下旬）に専門面接試問を行う場合がある（詳細は別途連絡）。 希望者は面接試験をオンラインで受験できる。願書提出前に受け入れ予定の教員に相談すること。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186
	外国人留学生等	英　　語		TOEFL iBT®，TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは IELTS-Academic module のスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。英語を母語とする志願者は個別に問い合わせること。	有資格者と認められた志願者には筆答試験を免ずる。 入試以前（2月下旬）に専門面接試問を行う場合がある（詳細は別途連絡）。 電卓及び計算機能，通信機能のある時計や電話機などの使用を認めない。 希望者は面接試験をオンラインで受験できる。願書提出前に受け入れ予定の教員に相談すること。 専攻照会先： 電子情報システム・応物系 事務室教務担当 (TEL) 022-795-7186
		基礎科目	3月2日（火） 9時30分～11時45分	力学，電磁気学，量子力学の3問。 必要に応じて英訳を付す。	
		専門科目	3月2日（火） 13時00分～14時30分	統計力学，物性物理の2問。 必要に応じて英訳を付す。	
		面　　接	3月3日（水） (集合時間は専攻より指示する)	研究発表10分，及び口頭試問。	

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
応用化学専攻 化学工学専攻 バイオ工学専攻	進学	専攻で別途選考する。			専攻照会先： 化学・バイオ系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7205 専攻ウェブサイト http://www.che.tohoku.ac.jp/index-j.html
	編入学	基礎科目	3月2日（火）又は 3月3日（水） 100分	無機化学，物理化学，有機化学，数学の 4題の中から2題を選択	
		面接試問	3月2日（火）又は 3月3日（水） （実施時間は専攻より指示する）	修士論文・博士研究に関する発表及び口頭試問（試問の一部は英語による）	
	社会人	面接試問	3月2日（火）又は 3月3日（水） （実施時間は専攻より指示する）	研究発表及び口頭試問	
	外国人留学生等	基礎科目	3月2日（火） 又は 3月3日（水） 100分	無機化学，物理化学，有機化学，数学の 4題の中から2題選択	
		面接試問	3月2日（火）～ 3月3日（水） （実施時間は専攻より指示する）	修士論文・博士研究に関する発表及び口頭試問	

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
材料システム工学専攻 知能デバイス材料学専攻 金属フロンティア工学専攻	進学	専攻で別途選考する。			
	編入学	英　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Editionのスコアシートの提出は認めない。 英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	(1) 本学前期課程修了者については英語を免除することがある。 (2) 日程等については個別に連絡する。 (3) 外国人留学生の場合，出願する選抜区分を必ず受入予定教員へ確認すること。 ＊詳細については専攻に問い合わせるか，あるいは以下のウェブサイトで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室 教務担当 (TEL) 022-795-7373
		一　般 専門試験	3月2日（火）～ 3月4日（木） 40分	物理，化学，材料化学，材料物性，材料加工について口頭試問	
		特　定 専門試験	3月2日（火）～ 3月4日（木） 40分	修士論文あるいは修士課程修了後に行った研究について口頭発表	
	社会人	英　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Editionのスコアシートの提出は認めない。 英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	(1) 英語に関して有資格者と認められた者についてはスコアシートの提出を免除することがある。 詳しくは受入予定教員に問い合わせること。 (2) 日程等については個別に連絡する。 (3) 外国人留学生の場合，出願する選抜区分を必ず受入予定教員へ確認すること。 ＊詳細については専攻に問い合わせるか，あるいは以下のウェブサイトで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室 教務担当 (TEL) 022-795-7373
		一　般 専門試験	3月2日（火）～ 3月4日（木） 40分	物理，化学，材料化学，材料物性，材料加工について口頭試問	
		特　定 専門試験	3月2日（火）～ 3月4日（木） 40分	これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表	

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
材料システム工学専攻 知能デバイス材料学専攻 金属フロンティア工学専攻	外国人留学生等	英　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出は認めない。 英語を母語とする志願者は，個別に問い合わせること。	(1) 日程等については個別に連絡する。 (2) 外国人留学生の場合，出願する選抜区分を必ず受入予定教員へ確認すること。 ＊詳細については専攻に問い合わせるか，あるいは以下のウェブサイトで確認すること。 http://www.material.tohoku.ac.jp/admission/index.html 専攻照会先： マテリアル・開発系事務室 教務担当 (TEL) 022-795-7373
		一　般 専門試験	3月2日（火）～ 3月4日（木） 40分	物理，化学，材料化学，材料物性，材料加工について口頭試問	
		特　定 専門試験	3月2日（火）～ 3月4日（木） 40分	これまでの研究あるいは修士論文について口頭発表（日本語あるいは英語）	

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
土木工学専攻	進学	面接試問	3月2日（火） 又は 3月3日（水）	研究内容等について諮問する。	(1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能を有する機器類の使用は認めない。 (2) 口述試験・面接の日時・場所，試験時の注意事項等は専攻から通知する。また，国外からの受験者については，オンラインで口述試験・面接を実施することがある。 (3) 詳細は専攻に照会すること。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7489
	編入学	英　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Editionのスコアシートの提出は認めない。	
		口述試験	3月2日（火） 又は 3月3日（水）	修士論文（現在作成中のものを含む）の内容を15分以内で発表（PC使用可）。発表の内容について試問する。	
		面　接	3月2日（火） 又は 3月3日（水）		
	社会人	小論文	3月2日（火） 9時30分~11時00分	土木工学関連のテーマ	
		口述試験	3月2日（火） 又は 3月3日（水）	勤務先での研究又は業務の内容を15分以内で発表（PC使用可）。発表の内容について試問する。	
		面　接	3月2日（火） 又は 3月3日（水）		
	外国人留学生等	英　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Editionのスコアシートの提出は認めない。	
		口述試験	3月2日（火） 又は 3月3日（水）	修士論文（現在作成中のものを含む）の内容を15分以内で発表（PC使用可）。発表の内容について試問する。	
		面　接	3月2日（火） 又は 3月3日（水）		

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
都市・建築学専攻	進学	書類審査		研究計画	(1) 口述試験・面接の日時・場所は専攻から通知する。 (2) 口述試験・面接はオンラインで実施する場合がある。 (3) 試験に加えて，課題提出を求めることがある。 (4) 詳細は専攻に照会すること。 専攻照会先： 人間・環境系事務室教務担当 (TEL) 022-795-7489
		面　接	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）		
	編入学	口述試験	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）	修士論文（現在作成中のものを含む）あるいはそれに相当するもの，及び研究計画の内容を発表（PC使用可）。発表の内容について試問する。	
		面　接	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）	口述試験と同時に行う。	
	社会人	口述試験	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）	研究計画の内容を発表（PC使用可）。発表の内容について試問する。	
		面　接	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）	口述試験と同時に行う。	
	外国人留学生等	口述試験	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）	修士論文（現在作成中のものを含む）あるいはそれに相当するもの，及び研究計画の内容を発表（PC使用可）。発表の内容について試問する。	
		面　接	3月3日（水） 又は3月4日（木） （専攻より指示する）	口述試験と同時に行う。	

専　攻	選抜	試験科目	試験日時	試験内容	備　考
技術社会システム専攻	進学	専攻で別途選考する。			
	編入学，外国人留学生等	英　　語		TOEFL iBT®またはTOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアシートの提出も認める。	口頭試問の日時・場所は専攻より別途通知する。 専攻照会先： 技術社会システム専攻事務室 (TEL) 022-795-3863 専攻ウェブサイト： https://www.most.tohoku.ac.jp
		口頭試問	3月2日（火）～ 3月4日（木）	これまでの研究及び入学後の研究計画を発表。発表の内容を含めて試問する。	
	社会人	口頭試問	3月2日（火）～ 3月4日（木）	これまでの研究及び入学後の研究計画を発表。発表の内容を含めて試問する。	